

**まちづくりガイド  
ライン策定の進捗は**



松枝 正浩 議員  
動画視聴

**問** 隼人駅から鹿児島島神宮までの地域まちづくりのルールである、まちづくりガイドライン策定に係る地域等との協議の進捗状況はどうか。



鹿児島島神宮周辺

**答** 現在のところ、地域等との協議は行っていない。当該地域は、空き店舗率が高いことから、今ある空き店舗等の地域資源を活用して、まちの活

力を生み出すリノベーション。まちづくりの手法が活用できないか、調査

研究中であり、方向性が決まった段階で、地域の方々と通り会等へ説明をしていきたい。

**未登記解消に向けた組織的な体制強化を**

**問** 市全体の未登記は何筆あるか。また、用地関係の業務の現状と組織として、用地課の設置はできないか。

**答** 市全体の未登記の筆数は、平成29年度末時点で1919筆である。本市における用地関係の業務は、普通財産の管理及び取得、処分等は財産管理課で、建設部の所管に關する部分は建設政策課で、その他の用地については、各所管課においては、業務を行っている。今後も、より効率的な業務の推進ができるよう組織機構の在り方も含めて、検討していきたい。

**本市のまちづくり  
の基本構想を問う**



植山 利博 議員  
動画視聴

**問** 霧島市のまちづくりの展望をどのように考えているか。また、イノベーションを核とした人材育成、ものづくり支援策はどう考えるか。

**答** 国分隼人の市街地を都市機能の集約する「都市核」、溝辺、横川、牧園、霧島、福山の総合支所周辺やJR各駅を「地域拠点」と位置付け、機能分担を図り連携し合う「集約型多極連携ネットワーク都市構造」の形成を目指す。また、公共交通ネットワークの構築も図る。イノベーションの推進は、業種間の垣根を越え、地域資源を生かし、新事業の創出と販路拡大を進める。

**ごみや人口の将来予測を  
考慮しての施設整備を**

**問** 近年のごみ処理の現状と課題、敷根清掃センターの建設構想をどう考えているか。

**答** 霧島市のごみの排出量は、ここ2年で4万2千トン台と減少傾向にある。敷根清掃センター建設は、敷根清掃センター周辺にストーカ炉方式により建て替え、2025年度の本格稼働を目指す。将来人口は、第2次総合計画、霧島市ふるさと創生総合戦略、国立社会保障・人口問題研究所の人口予測などを参考に「霧島市ごみ減量化・資源化基本方針」に基づき試算する。

**その他の質問**

・進出企業（大型小売業・サービス業等）に対する市の対応について

**「もったいない」から「ありがたい」へ  
食品ロス削減への  
取組を**



久保 史睦 議員  
動画視聴

**問** フードドライブ運動の推進が必要ではないか。

**答** 食品ロス削減に対して有効な取組であることから、本市内でフードドライブを活用し、子ども食堂を運営している団体に対し更なる協力をお願いしている。今後も運動の推進について啓発していく。

**問** 3010運動等においても「残さず食べよう」ではなく「おいしく、楽しく食べよう」との本来の食の観点からの取組をすべきではないか。

**答** 3010運動等においても「残さず食べよう」ではなく「おいしく、楽しく食べよう」との本来の食の観点からの取組をすべきではないか。

**答** 「いただきます」という感謝の言葉、気持ちが大切である。県と連携しさまざまな取組を進め、食品ロス対策を更に推進する。また、食育を通しての団体とも連携を深め、調査研究する。

**隼人東IC出入口交差点  
の安全対策を**

**問** IC付近は危険との声があったが、大型商業施設等もあり交通量も増加している。早急な対応策を求めるがどうか。

**答** 国道などの幹線道路に近く、周辺の道路整備も進み交通量が増加しているため、信号機設置について、県公安委員会へ要望する。

**その他の質問**

・多機能・利便性向上に向けた魅力的な図書館運営について  
・教育行政について

**宮内児童クラブは  
学校敷地内に整備を**



宮内 博 議員  
動画視聴

**問** 宮内児童クラブは、3つの施設で運営されている。分散している施設では、子どもや保護者、指導員の負担も大きい。施設の老朽化も進み、男子トイレは仮設トイレであり、手洗いの水道も仮設で設置している。2020年度まで、学校敷地内に新たな児童クラブは建設されるのか。

**答** 宮内児童クラブは、小学校敷地内に建設するとの指示を出している。文化財埋設地域であり、どうしても費用がかからないかも含めて協議している。完成時期は、国県補助の関係もあるが、早期の完成をめざしたい。

**指定管理施設の労働条件  
改善や老朽化対策を**

**問** 指定管理している施設の老朽化対策を進めるべきだ。「10万円以上の修理は霧島市が実施する」との指針は見直し、それ以下でも市が行うべきだ。また、基準価格を一人200万円としている人件費は、「働く貧困層」であり、労働条件の改善や住民サービス向上を進めるべきではないか。

**答** 施設老朽化は共通の課題だ。指定管理者と協定を結ぶ段階で、適切な管理を行うようにしている。最低賃金の引き上げなど社会情勢も変化することもある。今後は、社会情勢の変化にあわせて指定管理の在り方も検討する必要がある。

**その他の質問**

・再生可能エネルギー出力制御問題に対する市長の政治姿勢について  
・国保問題について

**学校教育であいさつ  
運動の充実を**



川窪 幸治 議員  
動画視聴

**問** 教育現場で挨拶の意味や役割は、どのように指導されているか。

**答** 各学校では、「先手あいさつ」、「立ち止まって笑顔であいさつ」、「語先後礼」などの型を示しながら、児童会や生徒会活動、道徳の授業等を通して、子どもたちが自ら挨拶できるよう指導している。挨拶は、人間関係や円滑な社会生活を送るために大切であり、挨拶を通して「相手を尊重し敬愛する心」を育む大切な教育の機会と据えている。

**問** あいさつ運動の取組を広報誌等で紹介することはできないか。

**住宅リフォーム助  
成制度の実施で経  
済の活性化を**



前川原正人 議員  
動画視聴

**問** 住宅リフォーム助成制度や空き店舗へのリフォーム助成制度の実施で地域資源の活用、人材確保や育成、循環型経済の形成、地元中小零細業者の育成など図るべきではないか。

**答** 住宅リフォーム助成制度は、平成25年度と26年度に実施した経緯がある。現在のところ、緩やかに景気が回復しており実施する考えはない。空き店舗改修助成は、「市中小零細企業振興会議」から提言があり実施を検討している。

**第一工業大学前の渋滞緩和を**

**問** 市道国分銅田線と県道60号線（第一工業大学付近）は、国分銅田線から霧島方向に右折する車両が多い。2020年には、県道日当山敷根線の延長にある新町跨線橋が開通する。渋滞を解消するために市民プール側の市道に右折レーンや時差式信号の設置が必要ではないか。



第一工大前交差点

**答** 第一工業大学前の交差点は、霧島方面への右折車両が12時間調査で2043台であり、交通量はさらに増加することが考えられる。県や公安委員会との協議を行い、交差点の整備に関する計画を進めていきたい。